

講義名	対)19-日本語D(話す)/15-日本語D【留学生科目】			授業形態	
担当教員	安本 博司	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

この授業では、学生が主体的に資料・情報を収集し、クラス全体で話し合っ共有し、口頭発表につなげる。扱うテーマは授業計画に明示しているが、学生の関心に合わせて変更することもある。

**到達目標**

1. 日本の社会問題などの現状が理解できるようになる。
2. 「1.」の問題に対して、論理的に意見が言えるようになる。

**提出課題**

資料・情報収集などの課題を与える。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

口頭発表後にフィードバックを行う。

**評価の基準**

発表60%（普段の発表、最終発表）、出席状況10%、平常点10%

**履修にあたっての注意・助言他**

与えられたテーマに関する資料・情報収集を行い、授業に参加すること。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

その他

**授業計画**

- 1 オリエンテーション：授業の進め方及びスケジュール、評価方法についての説明
- 2 テーマ：「いじめ」に関する語解文を読み、いじめの現状を理解する。
- 3 前回のテーマについて各自で調べた事をクラスで共有し、発表を行う。
- 4 テーマ：「日本の少子高齢化」に関する語解文を読み、日本の少子高齢化の現状を理解する。
- 5 前回のテーマについて各自で調べた事をクラスで共有し、発表を行う。
- 6 テーマ：「夫婦同姓制度」に関する語解文を読み、夫婦同姓制度の現状を理解する。
- 7 前回のテーマについて各自で調べた事をクラスで共有し、発表を行う。
- 8 テーマ：「死刑制度」に関する語解文を読み、死刑制度の現状を理解する。
- 9 前回のテーマについて各自で調べた事をクラスで共有し、発表を行う。
- 10 テーマ：「新型コロナウイルス」に関する語解文を読み、新型コロナウイルスの現状を理解する。
- 11 前回のテーマについて各自で調べた事をクラスで共有し、発表を行う。
- 12 最終発表準備：これまでの授業を参考に新たなテーマで原稿、パワーポイントの準備をする。
- 13 最終発表準備：これまでの授業を参考に新たなテーマで原稿、パワーポイントの準備をする。
- 14 最終発表
- 15 最終発表

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

【予習】発表では、資料収集などの準備をすること。また、各テーマにおける語彙の意味などは、各自で調べておくこと。（3時間）  
【復習】発表後のフィードバックを参考にし、必要に応じて原稿などの修正を行うこと（1時間）

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

留学生を対象とした科目群で、日本語の話す技能、特に論理的な話し方、わかりやすい表現を用いてスピーチすることで、話す能力を育成する科目である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**